•第1回日本アフリカ科学技術大臣会合後の協力の進捗について

•科学・技術・イノベーション協力に関する日アフリカ共同イニシアチブ

2010年10月3日
内閣府

第1回日本アフリカ科学技術大臣会合後の協力の進捗について

第1回日本アフリカ科学技術大臣会合

- 2008年10月8日、東京にて第1回日本アフリカ科学技術大臣会合を開催。アフリカ32か国の代表団が参加。

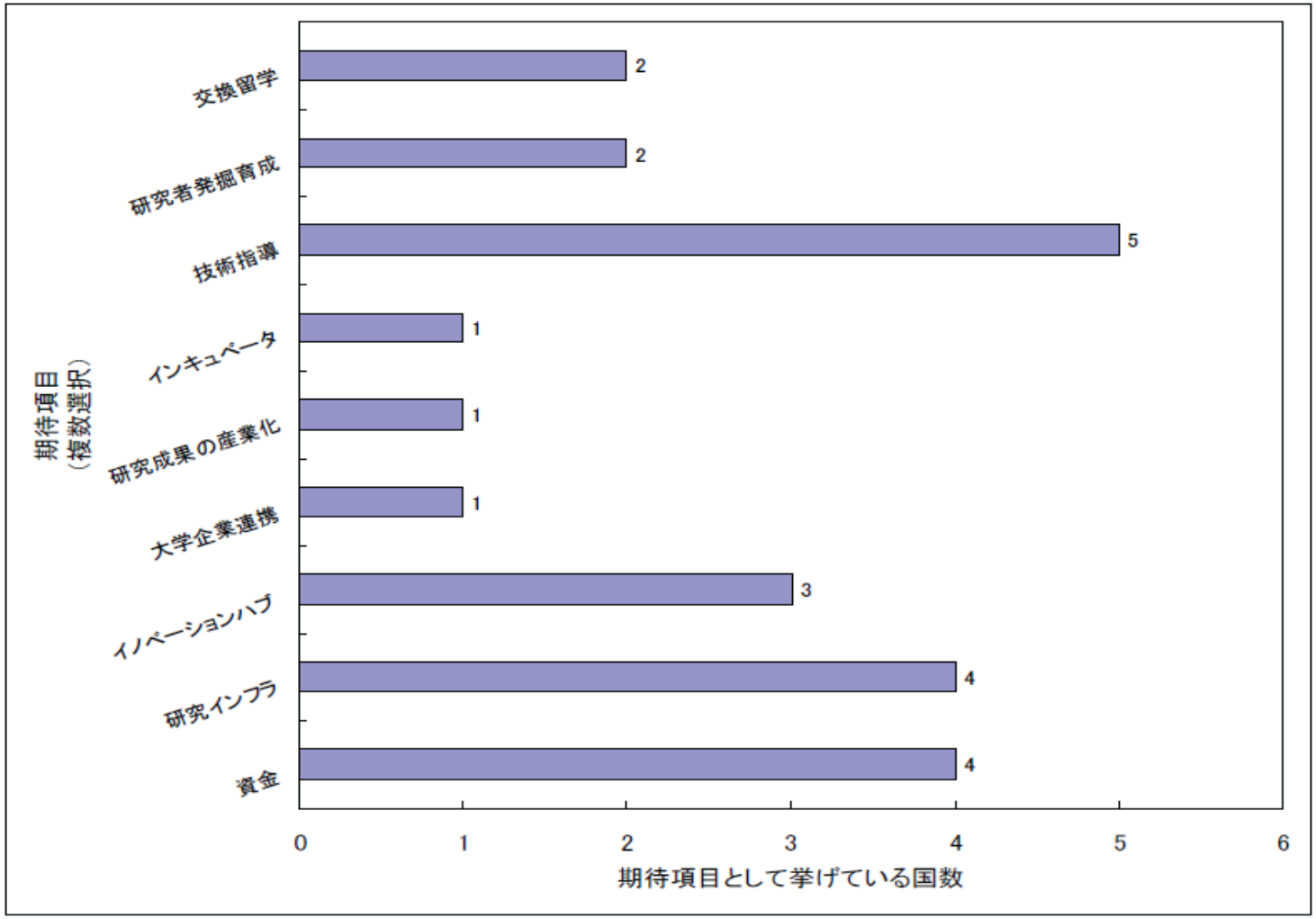
アフリカ科学技術調査ミッション

- 目的
  - アフリカの科学技術に対する理解を深めるため、アフリカ諸国の科学技術政策や研究開発活動を調査
  - 今後の協力の可能性の発見
- スケジュール・訪問国
  - 2009年2月18日 – 3月8日
  - エチオピア(アフリカ連合)、南アフリカ、ボツワナ、ケニア、ウガンダ、エジプト、ガーナ

アフリカ科学技術調査ミッション

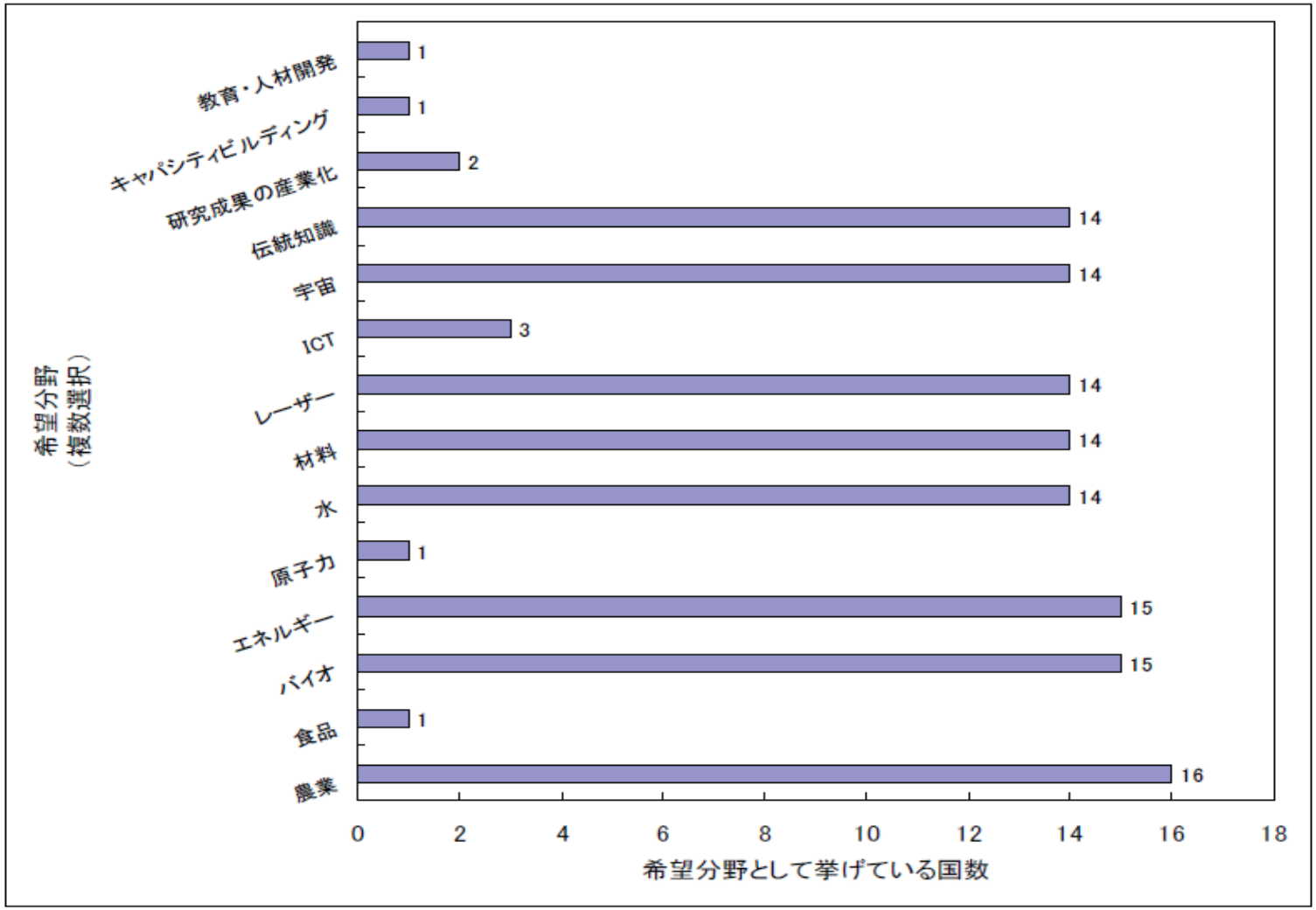
- アフリカ科学技術調査ミッションから得た5つの知見
  1. 日・アフリカ協力において科学技術協力は有効
  2. 多様な協力の存在－二国間、地域レベル、多国間（日アフリカ））－
  3. ODA と科学技術:開発援助から科学技術協力へのシームレスな支援の必要性
  4. 日本への留学経験者とのネットワーキングの重要性
  5. 現地での日本人研究者に対するサポートの重要性

アフリカ各国が日本に期待する協力



2009年2～3月にかけて三菱総合研究所によって実施された、アフリカ21か国の政府関係者（科学技術担当）を対象とした複数選択回答アンケートより

アフリカ各国が日本に協力を希望する分野

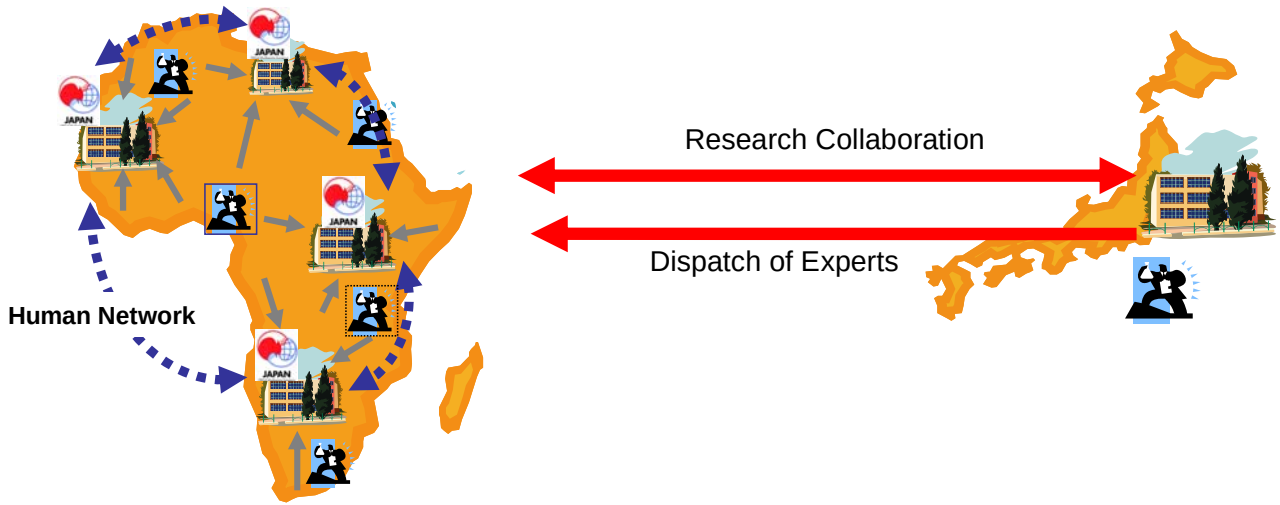
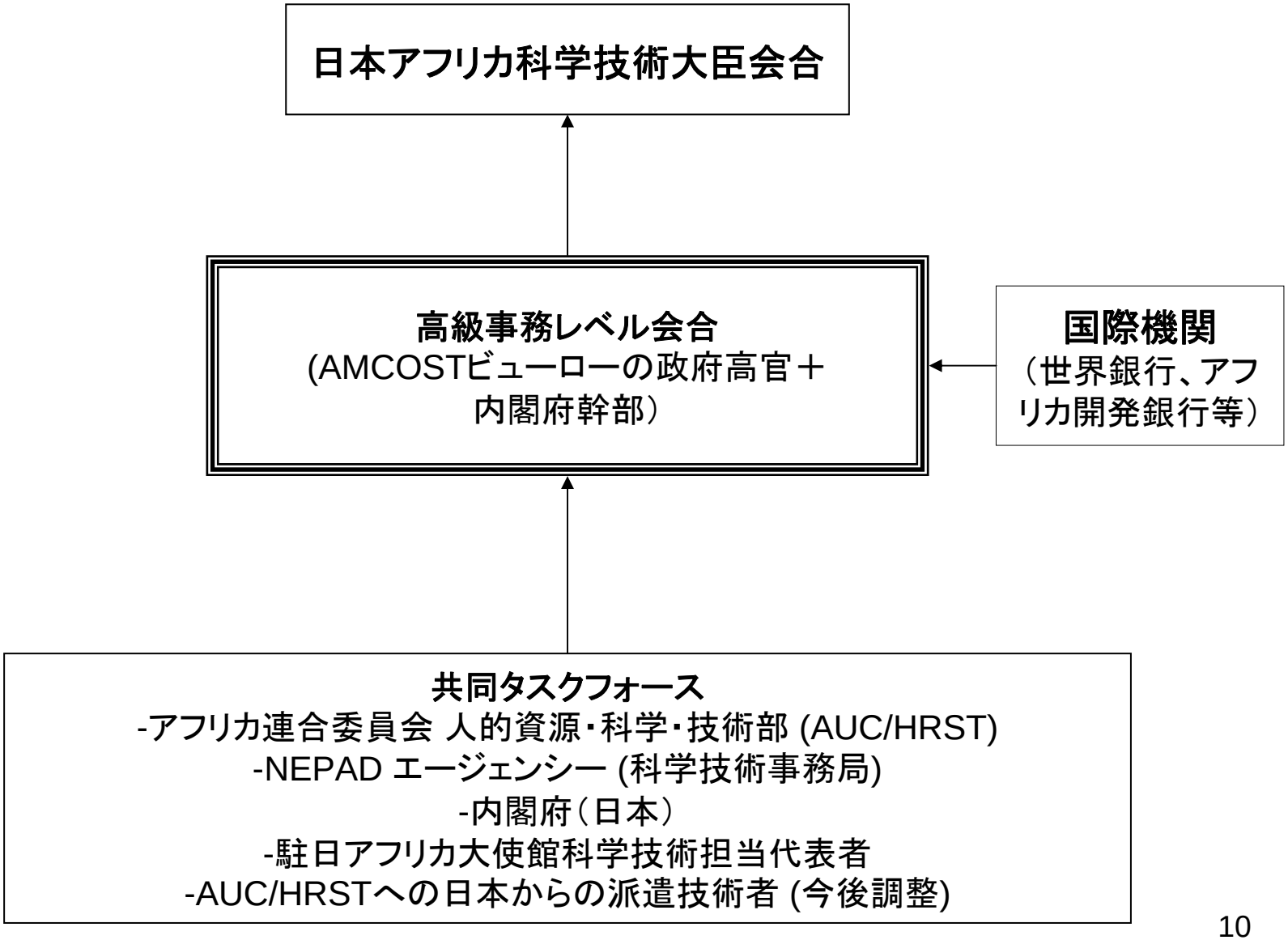


2009年2～3月にかけて三菱総合研究所によって実施された、アフリカ21か国の政府関係者（科学技術担当）を対象とした複数選択回答アンケートより

科学・技術・イノベーション協力に関する
日アフリカ共同イニシアチブ

日アフリカ間の科学・技術・イノベーション協力を促進するための新たなイニシアチブ

- イノベーション及び持続的開発につながる共同の継続的研究協力のため、日アフリカ間のネットワークを構築。
- アフリカの各地域（東・西・南・北・中央部）の研究機関より、日アフリカ間の研究・イノベーション・ネットワークのハブとなる「STI協力の地域センター」を特定し、活用する。
- 協力のテーマとなる分野は、例えば日本の国家戦略に沿ったグリーン・イノベーションやライフ・イノベーションに関するものや、アフリカ科学技術総合行動計画（「Africa's Science and Technology Consolidated Plan of Action (CPA)」）に合致したもの、といった相互利益に基づく分野を共同で特定する。.
- 研究、開発及びイノベーションの促進を通じた日アフリカ間の科学コミュニティの人的ネットワーク強化



イニシアチブ推進に向けた検討体制